

2 エンジン

変更項目のみ記載，記載なき項目は，既刊の
新型車解説書または整備解説書を参照下
さい。

2-1 エンジン主機

- 概要.....2-2

2-2 動弁機構

- 概要.....2-3

- 準備品.....2-3

- 整備要領.....2-3

2-3 エアインテークシステム (AT用)

- 構造・作動.....2-4

2-4 フューエルシステム (AT用)

- 構造・作動.....2-6

■主要変更点

(1) AT用エンジン追加

ECVTと比べDレンジアイドル回転時の必要トルク上昇に合わせ，アイドル回転時の吸入空気量増加等を行った。

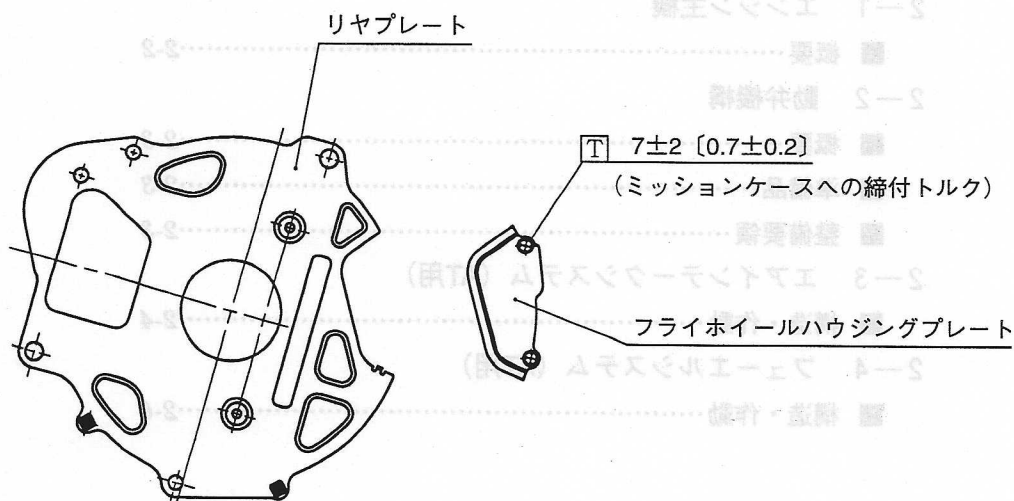
(ただし，アイドル回転数等諸元は不変である。)

(2) ロッカーカバーガスケットに液状ガスケットを併用した。

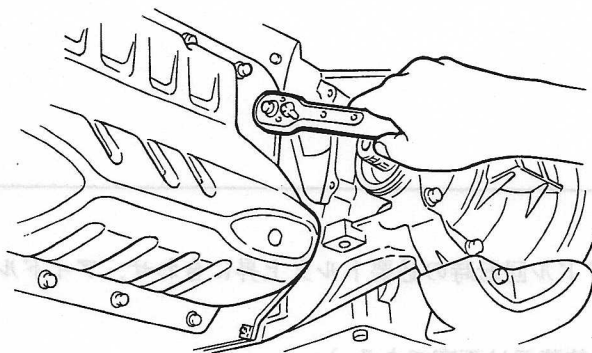
■ 概要

リヤプレート

エンジンとトランスミッションのドッキング及び分解時に、ドライブプレートとトルクコンバーターをボルトにて締結・取り外しを行う。この作業スペースとしてリヤプレートに切り欠き部を設けた。(切り欠き部はE/G・T/Mドッキング後、フライホイールハウジングプレートを取り付けて塞ぐ。)

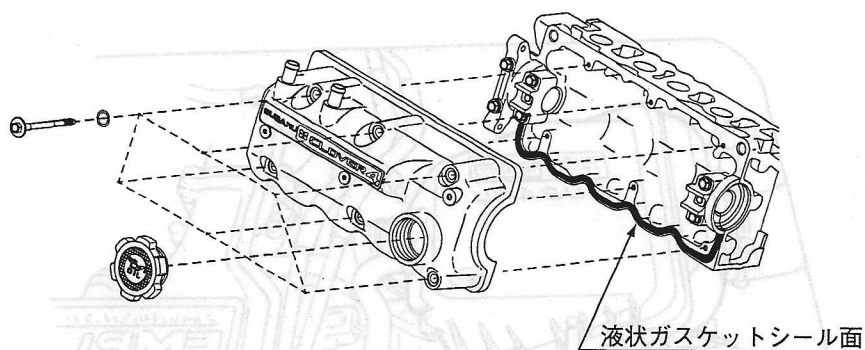


T 締付トルクN·m [kg·m]



■ 概要

ロッカーカバーガasket部のシール性向上のため、シリンダーヘッドとの合せ面（EX側）に液状ガasketを採用した。



■ 準備品

ロックタイト #5920

ロッカーカバーガasketと併用

■ 整備要領

より確実なシールとする為、ロッカーカバー取りはずし後は下記の手順で組立てる。

(1) 合わせ面の清掃

シリンダーヘッド及びロッカーカバーより、ガasket、シール剤などの付着カスを取除く。

注意 付着カスがヘッド内に落ちないように十分注意して作業すること。

(2) ロッカーカバーガasketの交換

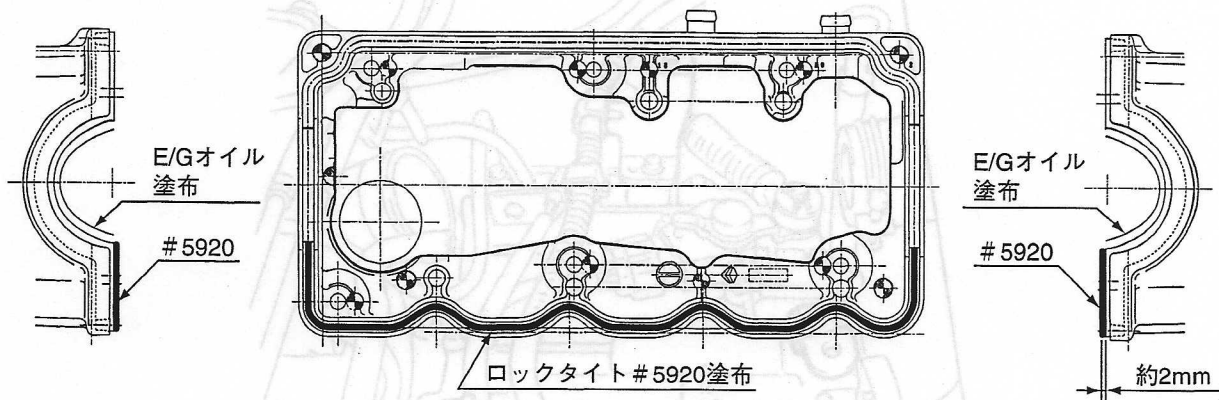
ロッカーカバーを取りはずした場合は、必ず新品のロッカーカバーガasketと交換する。

(3) 液状ガasket塗布

ロックタイト #5920 をロッカーカバーガasketに塗布する。（下図参照—線部中央に2mm程度の幅で塗布）

(4) E/Gオイル塗布

E/Gオイルをロッカーカバーガasketのアーチ部に塗布する。



(5) 組付け

ロッカーカバーガasketのかみ込みに注意して、ロッカーカバーをシリンダーヘッドに組付ける。

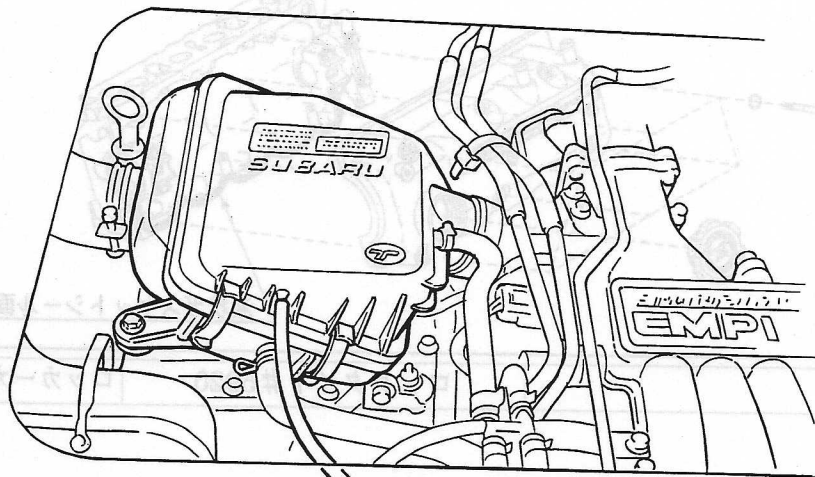
(6) 点検

E/Gを運転してオイルもれ無き事を確認する。

■ 構造・作動

・エアクリナー (MSC, AT)

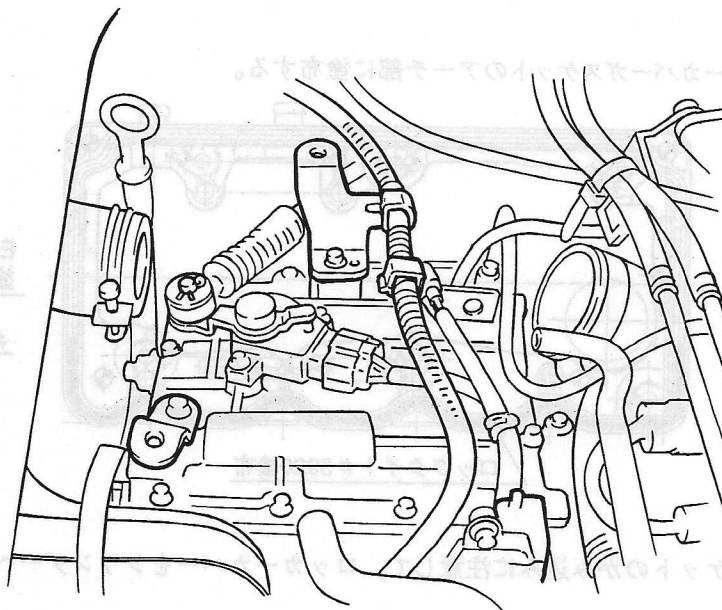
ソレノイドバルブ（サブISCバルブ）用バキュームニップル追加（エアコン無車は盲キャップ付）



ソレノイドバルブ
(サブISC) へ

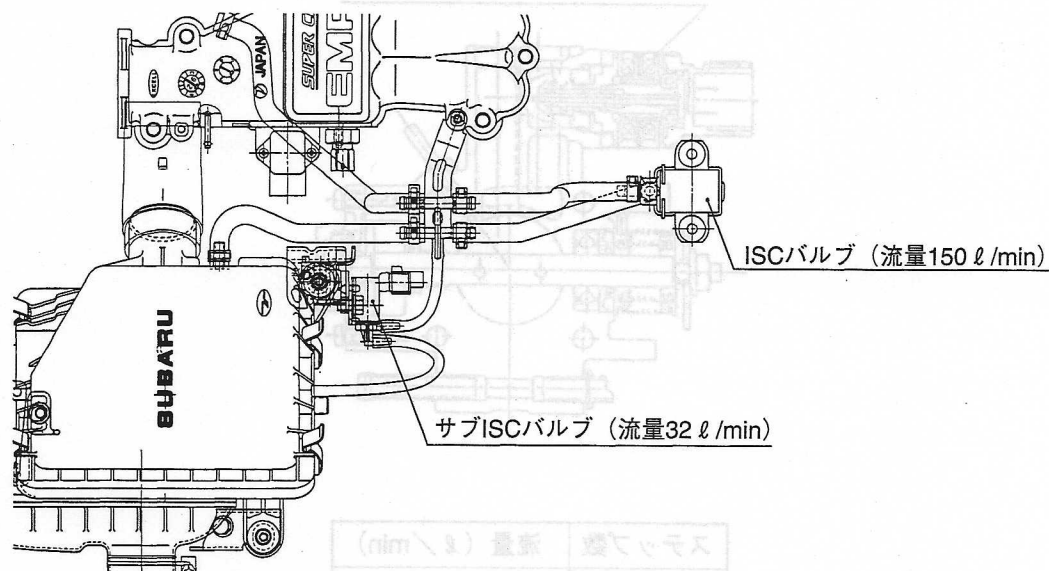
エアクリーナーステア (AT)

ATケースに合わせて形状変更



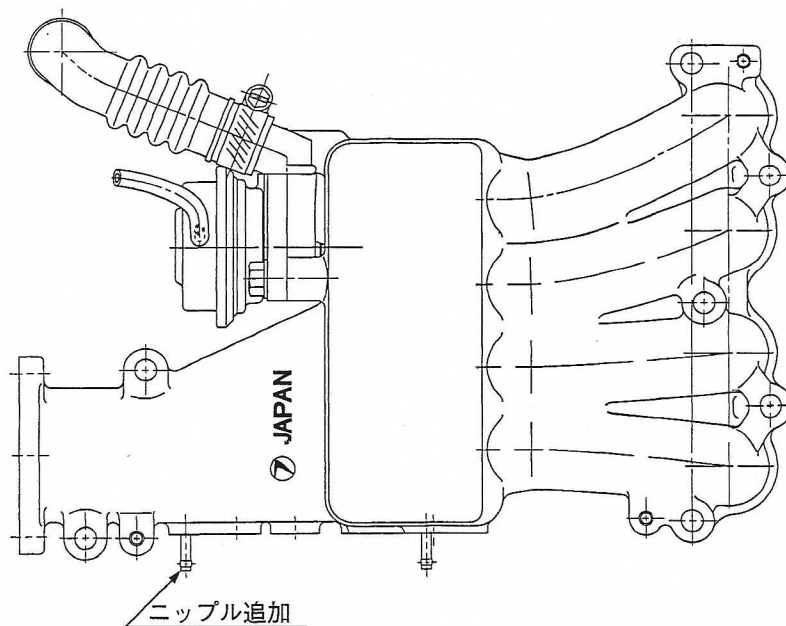
エアコントロールバルブ、ソレノイドバルブ (MSC, AT)

エアコントロールバルブ (ISCバルブ) の流量を150 ℓ/minとした。(MTは従来どおり100 ℓ/min)
AT, エアコン車にソレノイドバルブ (サブISCバルブ) 新設



インテークマニホールドコレクター (MSC, AT)

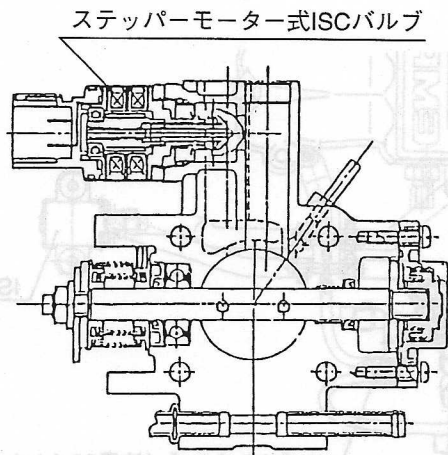
AT制御用バキュームニップルを追加



■ 構造・作動

スロットル&バルブASSY (NA-MPi, AT)

ISCバルブをステッパーモーター式に変更した。



ステップ数	流量 (ℓ/min)
0	30
15	85
120	600

ステッパーモーターへの入力ステップ数に応じて開口面積を変化させ流量を制御する。

